

ご存じですか？

ごみダイエットサポーター（亀山市廃棄物減量等推進員）

問合せ先 環境課廃棄物対策グループ（☎82-8081）

亀山市民1人1日あたりのごみ排出量は約950gで、全国平均の約920gを上回っています。ごみが多くなると、処理などで使用するエネルギーも多くなるため、工夫してごみを減らすことが大切です。

市では、ごみダイエットサポーターと一緒に、ごみの減量に取り組んでいます。

ごみダイエットサポーターの活動

平成28年11月から、ごみの減量やリサイクルに関する意見交換、啓発活動に取り組んでいます。現在、12人（男性4人、女性8人）が活動しています。



これまでの活動内容

・食の祭典での啓発活動（平成30年度、令和元年度）



多くの市民と交流し、水切りネットを配布するなど啓発活動を行いました。

・食品廃棄物組成分析調査見学（令和2年度）



一般ごみに食品ロスがどれくらい含まれているかを調査する様子を見学しました。

・行政情報番組への出演（令和2年度）



食品廃棄物分析調査結果の感想や、日ごろの食品ロス削減の取り組みを紹介しました。

・市議会教育民生委員会との意見交換会（令和3年度）



市民のごみ排出の現状、ごみ減量化に係る課題や問題点と必要な取り組みについて、活発に意見交換を行いました。

サポーターのおもい



長谷川さん

ごみについて考えることは、意識の高さに関係なく、知るきっかけがあるかどうかだと思います。

ごみと私たちの生活は密接に関係しており、各地域でさまざまなごみの問題があると思います。根本的に解決できるよう原因に目を向けて、市民一人ひとりが心地よく暮らせるお手伝いができたらと思っています。



伊藤さん

私たちの暮らしは、便利で豊かになっている一方、さまざまな環境問題が起きています。ごみを減らすことは、地球の未来を守っていくことにつながっています。ごみ減量について、市民一人ひとりの心掛けや行動がとても大切です。

普段の生活の中で、少しごみ減量について意識を向けてみましょう。

©市ホームページ「ごみダイエットサポーターだより」に活動報告を掲載していますので、ご覧ください。

URL https://www.city.kameyama.mie.jp/docs/2019021300127/namagomi_hozyo.html